

小径をゆけば

校長コラム

No.22

情報教育

学校で学ぶ内容の基本の部分は同じかもしれませんが、時代の変化とともに大きく変わりました。直近では、英語教育です。小学校で英語を教えることになると思います。でも、先生たちは大変上手に授業をされています。プログラミング教育も然り。これについては、まだまだ始まったばかりですので、手探りの状態です。この前、パソコン室の前を通っていたら、「校長先生ー」とかわいい声に呼び止められました。中を覗くと一年生がパソコンの学習をしていました。パソコンの起動の仕方、消し方、マウスの動かし方、顔認証などを学んでいました。本校にパソコン室ができたのは、平成十年。パソコンが四十台設置されたのは、平成十五年です。パソコンが入った当初は、消しゴムを使ったら肩がキーボードの中に入ったらいけないということで、パソコン室では消しゴム使用禁止にしていました。そんな時代から約二十年。今や「パソコンは文房具です」と、文科省は言います。各クラスには電子黒板が整備されました。初めは使うのが難しかったというベテランの先生も、今では電子黒板がなかったら授業できません。」とおっしゃいます。情報教育はもはや学校教育の中では大きな

入賞おめでとう！

★本校の金管バンド部6年生は、12月27日（日）、佐賀市文化会館で開催された佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテストに出場し、銀賞を受賞しました。多くのイベントが中止となり、発表機会が激減していたのですが、練習の成果が認められてよかったです。

位置を占めましたし、ますます重要になってくることでしょう。今回のコロナの流行で、日本のデジタル化の遅れが浮き彫りになったからです。一人一台のタブレットもすぐそこまで来ています。一方で、SNSなどで人を傷つけることが簡単になったことも大きな問題です。情報モラルについての教育もさらに重要になってきます。これからの時代を生きる子どもたちにとって必要なことばかりです。

～ 続く ～